



樹妙だより

No.219 2025/10.11



生徒会任命式

慈 悲 喜 捨

秋の訪れを告げる、虫の鳴き声が響き渡るようになりました。穏やかな季節を迎えて、旅行や運動などで活動的になる人がいれば、読書や芸術鑑賞などを楽しむ人もいます。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋など、さまざまな秋がありますが、秋にイメージすることや、チャレンジしたいことはどのようなことでしょうか。

ある調査では、秋に思い浮かべるものとして、「食欲の秋」と回答した人が約6割、「スポーツや読書の秋」が1割でした。そして秋に行いたいことは、「美味しいものを食べる」と回答した人が約6割、次いで「旅行」「スポーツ」でした。

「食欲の秋」を思い浮かべる人が多かったことから、美味しいものを食べたいと思う人が多いようです。そして、秋に食べたいものは、「サンマ」という回答が約5割、次が「梨」「サツマイモ」でした。秋が旬の食材はたくさんありますが、サンマや梨、サツマイモなどが人気のようです。

秋に観光や旅行で行ってみたい場所は、「紅葉がきれいなところ」「長野県の戸隠（蕎麦）」「USJ」「北海道」などさまざまでした。そして、秋にやりたいことでは、「外出」「旅行」「ドライブ」という回答が多く、紅葉を見に行きたいということが理由になっているようです。他には、映画鑑賞や読書など、自分の時間をゆっくり過ごしたいという回答もありました。

なお、「秋は、新たなことに挑戦しやすい季節だと感じますか？」という質問には、約6割の人が「とても感じる、やや感じる」と回答していて、新たなことに挑戦しやすい季節だと感じている人が多いようです。

秋は、人それぞれに楽しみや過ごし方があります。「天高く馬肥ゆる秋」といわれるように、澄み渡った空の元で食欲が湧いて、馬も肥えるような収穫の季節といわれています。閉じこもりがちになる冬に向けて、秋という好時節を有意義に過ごして心身に栄養を蓄えましょう。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

私の大好きな秋の季節がやってまいりました。感性豊かな日本人が秋を讃える言葉を沢山もっております。

錦のように色鮮やかな秋の山の様子を表す言葉で錦秋（きんしゅう）。まるで豪華な織物のように。雲ひとつなく澄み渡った高く広がる秋の空を表し、神々しさを感じさせる高天（たかま）。秋の空を見つめていると我を忘れるようであります。

但し今年の秋はゆっくりやって来て早く去って行く気配であります。

「心ここに在らざれば、
視れども見えず、聴けども聞こえず」

これは私が小学校2年生の時に、担任の先生に教えられた言葉です。今から考えると随分難しい言葉を教えてもらった。でも不思議なことにこの年になっても忘れずに覚えております。何故かという成長過程の節目の時、必ず思い出す言葉となってしまったからです。意味はどこかの時点で辞書で確認致しました。教えてくれた先生の顔と名前、今でも覚えております。子供の頃の記憶は侮れません。子供達はいくつかの諺を祖父母や両親または大人達から聞かされて育ってきています。中高生でも私が質問すると必ずいくつか答えてくれます。そこには私と同じようにその子だけの思いがある諺もあるようです。

最近、諺に関する矛盾に気がつきました。例えば「急がば回れ」と「善は急げ」。「立つ鳥 跡を濁さず」と「旅の恥はかき捨て」。正反対のこと言っているではありませんか。日本人面白すぎます。「二兎追うものは一兎をも得ず」と「一石二鳥」。「虻蜂取らず」と「一挙両得」。他に、「君子 危うきに近寄らず」と「虎穴にいらずんば虎児を得ず」。「大は小を兼ねる」と「山椒はぴりりと小粒で辛い」。調べましたらまだまだあるのです。「勝てば官軍」と「正義は勝つ」。「類は友を呼ぶ」と「群鶏の一鶴」。「蒔かぬ種は生えぬ」と「棚からぼた餅」。「善は急げ」と「急いてはこと

を仕損じる」。

この現象をよく考えると日本人は一方ばかりでなく両面から物を見る柔軟性を持っている。そんなことが言えないでしょうか。

こんな説話を聞いたことがあります。目の不自由な人が友人の家から帰る時に、「夜道ですから提灯をお持ちなさい」と友人に言われました。すると彼はムッとなって「目の不自由な私に、どうして提灯がいるのですか！ からかっちゃいけません」と怒ったのです。もしも目が不自由な私が、この場面に出くわしていたとしても、やはり「俺をバカにしているのか」と怒ったことに違いありません。ところがそれに対して友人は次のように答えるのです。「あなたには提灯はいらないかもしれないが、あなたが提灯を持ってもらえないと、目に見える人にはわからず、ぶつかるかもしれません。だから、提灯を持ってお帰りください」。

この話を聞くと自分の思考力のなさ、一面しか、もの見る事のできない愚かさが恥ずかしくなるのです。ですから私は時たま、この話を思い出すようにしております。

私が好きな陶芸家に河井寛次郎さん（1890－1966）という方がおられました。京都に行くと小さな記念館に足を運び、作品を鑑賞したり、書籍を購入したり私が影響を受けた1人であります。その河井寛次郎さんの言葉に

「鳥が選んだ枝 枝が待ってた鳥」

と言うものがあります。この言葉を知ったときには圧倒されました。私の世界観の中には「鳥が選んだ枝」しか考えられなかったのです。もしかすると「枝が待ってた鳥」に真実があるのかもしれません。または啐啄同時ではありませんが、両方からの働きかけの結果なのかもしれません。多面的なものの見方は成長の証しだと思います。

人間関係において相手の立場になってももの考える姿勢、これは思いやりの心から生まれるのでしょうか。実践しなければと思います。

合掌

第4期生徒会の紹介

会長：森田 結翔

皆さんの信頼のもと、生徒会長という大役を務められることを大変光栄に思います。生徒会長として生徒会を牽引し、生徒の皆さんが快適に過ごし、のびのびと学ぶ事ができるように努めていきます。第四期生徒会は「様々なことを積極的に提案し実行する、スピード感のある生徒会」にしたいと思っています。皆さんの意見やアイデアを時間をかけずに共有し、先生方ともしっかりと話し合い、改善に向け行動していきます。生徒と生徒会、先生方が一つになって、この樹徳高校をより良いものにできるよう、皆さんの応援とご協力をよろしくお願いいたします。

副会長：齋藤 颯太

副会長として公約は必ず実現し、生徒の皆さんの不満や疑問をできる限り早く解決するという使命感をもって活動していきます。本校の楽しさや伝統、そしてここにしかない魅力を、TikTok などといった新しいプラットフォームを通じて広め、「日本一有名で最先端に行く学校」にしたいと思っています。理想の学校に近づけるために最も大切なことは、生徒一人ひとりの声を聞くことです。「これは無理かも…」と思うことでも、ぜひ意見として伝えてください。改善に向けて全力で取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

会計：河野 萌杏

一般役員として生徒会のサポート役となり、「スピード感のある生徒会」の実現に尽力していきたいと考えています。また「生徒の疑問や不満に真摯に向き合う」という公約の実現にも力を入れ、一所懸命活動していきます。よろしくお願いいたします。

会計：クインクイレリア・タイアン

皆さん一人ひとりの意見を大切にしながら、国際交流の機会をより豊かに広げ、学年やクラスがつながり合える環境をつくりたいと考えています。そして全員が笑顔で過ごせる、明るく楽しい学校生活を実現できるよう、精一杯努力してまいります。



書記：鈴木 珂漣

まず初めに、私を選んでくださった皆さんに心から感謝いたします。「人と人との繋がりを温かな空気を学校に広げていく」をモットーに、本校と一貫校の誰もが笑い合える日々を目指します。今後の活動では、皆さんと一緒に心が通い合う学校をつくっていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

書記：安田 桜太郎

私は、第四期生徒会を生徒の不満を聞き逃さない生徒会にしたいと思っています。そのために、生徒の皆さんの意見を積極的に聞けるようアンケートなどを実施し、その意見をしっかりと反映できるよう、先生方の意見も聞いていきたいと思っています。よろしくお願いいたします！

庶務：新井 陽詩

この一年、皆さんが楽しく学校生活を送れるよう、縁の下での力持ちとして精一杯頑張ります。細かな事務作業から、皆さんの意見をまとめることまで、一つひとつを丁寧に行い、より良い学校作りに貢献していきます。

庶務：糸井 玖実

よりよい高校生活が送れるように一つ一つの課題に向き合っていきたいと思います。また、行事の運営や学校生活の改善にも力を入れ、誰もが過ごしやすい学校づくりに貢献できるよう、責任を持って精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

庶務：保科 光優樹

私は皆さんが学校生活を送る中で思った意見を、気軽に送れるような制度をつくりたいです。不便を改善するだけではなく、行事などでも声を取り入れていきます。皆さんの声が学校を作り上げていく、そのような仕組みを築き上げられるよう頑張ります。

今年の四月より樹徳中学校に勤務しております、瀬谷優紀子と申します。担当教科は国語で、中学一年生の副担任をしております。

私は生まれも育ちも桐生です。中学・高校時代は「空っ風なんかには負けない！自転車があればどこへでも行ける！」というほど行動的で、桐生祭りが大好きな、根っからの桐生人でした。大学進学を機に京都へ移りましたが、卒業後は地元へ戻り、数年間公立高校で教員として勤務しておりました。そしてご縁があり、今年度より樹徳中学校の教壇に立たせていただくこととなりました。

今回、原稿執筆のお話をいただき、これまでの人生を振り返ったとき、「人生のターニングポイント」になった“出会い”についてお話ししたいと思いました。

私は、祖母が書道教室をしていたこともあり、二歳半から筆を持ち、お手本を見ながら、見よう見まねで書いていたそうです。そして三歳の時に、日本武道館で行われた、「全国書初め大展覧会」に出場しました。それからというもの、月・水・金は書道、火・木は母の珠算塾でそろばんを学び、土・日はスイミングや英会話、ピアノ・・・と、小学生ながらにとっても忙しい日々を送っていました。そのため、友達と自由に遊んだ記憶はあまりありません。

また、月に二回は東京の書道教室に泊まりがけで通い、全国から集まった仲間とともに一日八時間、書道の勉強をしていました。特に私の学年は、字が上手い子が多く、大会では悔し涙を流すこともありました。「この子と学年が違ってればよかったのに……」と思うこともありましたが、それでもひたむきに努力を重ねていました。そのとき出会った仲間たちは、今でも連絡を取り合う大切な存在です。住んでいる県も環境も異なりますが、互いに切磋琢磨し、成長し合えた特別な関係です。書道を通して、年齢や性別を問わず、多くの人と関わる中で、私は幼いながらに「人との繋がり」や「ご縁」の大切さを意識するようになりました。

そして中学三年生の始業式の日、私の人生を大きく動かす出会いがありました。新しい担任の先生は、他の学校から異動してきた国語の先生でした。担任だけでなく部活動の顧問にもなり、私はこの事実を受け入れるのに少し時間がかかりました。しかし、一か月もすると、その先生のまわりにはいつも生徒が集まっていました。どんな時も生徒に寄り添

い、困っている時には的確なアドバイスをくださる。授業も部活動も熱心で、全力で生徒に向き合う姿を見て、私は「この先生のようにになりたい。」と強く思うようになりました。

月日は流れ、卒業式の日。最後のホームルームで、先生はクラス全員に一枚の色紙を渡してくださいました。そこには、「邂逅～思いがけなく出会うこと～」と書かれていました。当時はあまり深く考えませんでした。今ではその意味がはっきりとわかります。あの日の出会いこそが、私の人生を変える“思いがけない出会い＝邂逅”だったのです。

大学生の時、「人生で出会える人の数は約三万人」という言葉を、とある講義で聞きました。「人生でなんらかの接点を持つ人は、三万人。学校や仕事を通じて近い関係になる人は三千人。親しい会話ができる人は三百人。友達と呼べる人は三十人。親友と呼べる人は三人」ということらしいです。この数字を聞いた時、出会いというのはとても限られた、貴重なものであることを改めて実感しました。

何気なく過ごしていた日常の中で、私は人生の指針となる人と出会いました。もしその出会いが一年ずれていたら、その先生とは巡り会えていなかったかもしれません。そう考えると、あの出会いはまさに“運命”だったのではないかと思うのです。その先生とは、今でも連絡を取り合っています。人生の節目や迷いが生じたときには、今でも背中を押してください、大切な恩師です。

教師という夢を抱き、実際にその道を歩めている今、改めて感じるのは、「人との出会いはご縁であり、人生を動かす力になる」ということです。みなさんが大人になり、ふと学生時代を思い出したときに、「そういえば、瀬谷先生こんなこと言っていたなあ」と、私の言葉を思い出してくれる瞬間があったり、授業や日々の関わりの中で、私がお伝えすることが、みなさんのこれからの人生のどこかで少しでも役に立つことができたなら、教師冥利に尽きます。

みなさんと出会えたことも、私にとっては大切な“邂逅”のひとつです。この出会いに感謝し、そして、ご縁を大切にしながら、私も明照学園の一員として邁進（まいしん）してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

〔一貫校 国語科 瀬谷優紀子〕

一貫校 中学校 だより

6年6色

3年生の様子について

3年生（23期生）は穏やかな生徒が多く、学年の活動でもグループで分かれての活動でも、メンバー構成に関わらずよく話し合い、みんなで協力できる学年です。互いに声を掛け合い、何事に対しても前向きに一生懸命に取り組んでいます。

学年スローガンとして「Pay it forward」という言葉を掲げています。自分の置かれている環境や周囲の人に感謝し、今度は自分が誰かのために、と力を尽くせる人になってほしい。また、自分が成長することで多くの人や、まだ見ぬ誰かの役に立てる可能性に気づき、それをモチベーションにして努力ができる人になってほしい。という願いを込めています。今年度は、想いを行動に表すことをテーマとし、いただいた恩に対して、言葉だけでなく行動や自分達の成長という形で応えていくことを目指していきます。

3年生の修学旅行は、ニュージーランド語学研修を予定しています。外国の生活習慣やものの考え方を学び、国際的な視野を広げるとともに、日本人として自覚と誇りを持ってもらいたいと願っています。ホームステイや現地校との交流など、外国の文化に実際に飛び込むことで得難い経験ができるはずです。一人の人間として自分の意思で行動することや自分の意思を発信することの大切さを感じ、自主自立を心に刻む機会になればと思います。人生を自分事にするのが、今後の学習、さらには進路選択に繋がると考えています。

3学年主任 田島 遼也



4年生の様子について

4学年（22期生）31名は、樹徳高校に入学し半年近くが経ち、高校生活にすっかり慣れ、各自が高校のペースに合わせて行動できるようになっています。4学年は男子15名、女子16名で男女のバランスが良く、明るく素直な生徒ばかりで、学年全体が和気あいあいとした雰囲気の中で仲がよいです。

4学年の目標は、「学習習慣の確立」と「望ましい生活習慣の確立」です。ほとんどの生徒は現在まで皆勤であり、基本的な生活習慣が確立されています。学習についても、全体的に、落ち着いて授業に取り組んでおり、課題もほぼ忘れずに提出できています。学習に真摯に取り組んでいますが、まだ周りから言われたことをやるという段階にとどまっている人が多いように感じます。

4学年の終わりには、文系・理系を選択しなければなりません。そのためには自分の将来像をおぼろげであっても描かなければなりません。それを他人任せにすると、失敗したときに責任転嫁しますし、目標を達成しようという意欲も減退します。したがって自ら将来像を描き、その実現のために主体的に努力をすることが求められます。学習についても先生方に言われたことを行うだけでなく、自らの目標達成のために何が必要かを判断し、自主的に学習を進めていかなければなりません。4年生には自主自立の精神で未来を切り開いてほしいと思います。

4学年主任 内田 富明



◆行事紹介 ～ 高原学校 ～

8月20、21日に、中等部の1、2年生が富士山の自然に囲まれながら充実した2日間を過ごしました。澄んだ空気と雄大な景色の中での活動は、生徒にとって大きな刺激となり、自然の恵みを実感する貴重な機会となりました。登山や共同作業を通して、仲間と声を掛け合いながら困難を乗り越える姿や、互いを思いやりながら協力する姿が見られました。特にクラスの仲が深まったことに加え、自ら役割を担いリーダーシップを発揮するなど、一人ひとりの成長が随所に感じられたことは大きな収穫でした。今回の経験を通して得た絆や自信を、今後の学校生活や学びへと繋げてほしいと願っています。



幼稚園だより

原稿を書いている今、暦の上では秋を迎えて1カ月以上も経っていますが、昼間は真夏の暑さが続いています。特に今年の暑さは、昼夜で記録的な暑さとなり、観測史上歴代最高気温も更新され、隣の伊勢崎市が41.8℃で1位となり、我が桐生市も41.2℃で全国4位の気温が記録となりました。しかし、40℃近い猛暑日が続いた8月に比べると、朝晩はやや気温が下がり秋の気配を感じる時期になってきています。昔の人がよく言った「暑さ寒さも彼岸まで」は、自然の現象をよく言い当てていることわざだと思います。

そのような中、樹徳高校野球グラウンドをお借りして10月11日（土）に開催が予定されている運動会に向けて、どの学級も練習に力が入り、子どもたちは頑張っています。特に、年長の子どもたちにとっては、幼稚園最後の運動会になりますので、練習への気持ちの入り方が違います。見学に来てくれた人に、リズム遊戯や組み立て体操が最高学年らしい発表となるよう、エアコンで涼しくした遊戯室で毎日熱の入った練習に励んでいます。

運動会当日、2歳児から6歳児までの子どもたちの頑張る姿を、多くの皆様にご覧いただけると幸いです。

◆子どものネット利用について考える

8月の下旬に、世間を賑わせたニュースがあります。『愛知県豊明市が全市民を対象に、仕事や勉強以外でのスマートフォンやタブレット端末の使用を「1日2時間以内」を目安とする条例案を市議会に提出した』というもので、9月22日に市議会で採決され可決・成立すれば全国初の「スマホ使用条例」となるそうです。ただ、この条例案には賛否両論があり、現在活発な議論が行われているようです。市長さんによれば、「この条例案は市民の権利を制限した



幼交連主催 交通安全教室

り義務を課したりするものでなく、スマホの過剰使用に一石を投じたに過ぎない」とのこと。

実際、インターネットやSNSの利用は低年齢化し、使用時間も延びてきています。こども家庭庁の2024年度の調査では、小中高校生のネット利用時間は5時間以上が42.3%に上り、平均利用時間が5時間2分と2009年に調査を始めて以降最長であったそうです。幼稚園関係者に聞くと、最近家庭ではテレビを見たり読み聞かせを聞いたりするより、スマートフォンやタブレット端末でユーチューブを観ていることが多いそうで、親が忙しいときに端末を与えておけばユーチューブを静かに観ているので、ついそうしがちであるとのこと。このような現状を考えると、スマホ使用条例が提案されるのも理解できます。

「脳トレ」で有名な東北大学教授の川島隆太先生は、以前から子どものSNS利用については、法的なことも含め、何らかの規制が必要だと主張しています。理由としては、SNSとスマートフォンには依存性と中毒性があり、使い過ぎは脳の発達を抑制し、子どもの発達には害があるからだ、自分の実験データを示しながら、何らかの規制をしなければならないと述べています。

海外でもネット制限の動きが出ていますが、これからは国内でより一層適正利用について議論を進めるべきであると考えます。

園長 佐野 悦生



父の会主催 夏のイベント～水鉄砲射的



運動会に向けて練習に励む年長組

令和7年度入園児募集

◎2歳・3歳・4歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員 2歳児 10名、3歳児 10名、4歳児 10名

○入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

○お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。☎0277-53-5571

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

QRコードは、インスタグラム（幼稚園生活の様子）



@JUTOKUKINDERGARTEN

10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	水	更衣 校内安全点検日 県校長会 中間試験(～3日)	更衣 中間試験(高校～3日) 中学自主学习DAY 校内安全点検日	衣替え 安全点検日 英語・文字(年長)
2	木	全国私学教育研究集会(神奈川)(～3日)	中間試験(中学～3日) 防災訓練	体育・文字(年中)
3	金	マイトリー基金拠金日 県高P連東毛地区 指導者研究集会(太田)	マイトリー拠金日 薬物乱用防止教室(中学)	
4	土	3年生普通自動車教習開始 3年生ベネッセ・駿台記述模試②	6年ベネッセ記述模試①	開園日(預かり保育)
5	日	英語検定②一次		
6	月	授業料・第2回諸費納入日 学年主任会⑥	授業料納入日 中高LHR	
7	火	1年生校外学習(大川美術館・桐生市内散策 ～14日)	6年河合塾共通テスト模試(～11日)	
8	水	探究・LHR	総合学習 医療倫理・医系進学講座	
9	木	県私学保護者連合会理事会(桐一)		運動会予行練習
10	金			運動会前日準備 保育料納入日
11	土	オープンスクール4	中学校模試②(保護者説明会)	運動会
12	日			
13	月	スポーツの日		
14	火	探究・LHR 日私中高連常任理事会	お役に立とう週間(～17日)	運動会代休日(預かり保育)※運動会予備日
15	水	探究・LHR 日私中高連常任理事会	総合学習 中学授業参観(午前中)	お茶のお稽古④ 英語
16	木	群馬県高校総合文化祭開会式(群馬会館)		※運動会予備日 体育・文字(年中)
17	金	朝礼 制服アフターサービス	高校朝礼 三越アフターサービス 落ち葉清掃(～27日)	文字(年長)
18	土	3年河合塾全統記述模試③	土曜補習 6年河合塾記述模試③	開園日(預かり保育)
19	日	個別入試相談会①		
20	月	体育祭予行練習	中学朝礼 高校体育祭予行練習	リズム・線遊び(年少)
21	火	体育祭	高校体育祭	ボール投げ教室⑤(年中・年長)
22	水	3年河合塾全統共通テスト模試(～25日) 私学教科研修(育英)	総合学習	英語・文字(年長)
23	木	体育祭予備日 関東地区代表高等学校長研究協議会(～24日)	高校体育祭予備日	体育・文字(年中)
24	金		漢検②	親子バス旅行
25	土	個別入試相談会② 後援会研修旅行	特別選抜模試 3年生語学研修最終説明会(9:00～11:00)	開園日(預かり保育)
26	日			
27	月	教科主任会⑥	中高LHR 6年駿台ベネッセ共通テスト模試(～31日)	さつまいも掘り(全園児)
28	火	群馬県民の日		
29	水	探究・LHR 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試(～11/1)	中学体育祭予行練習	英語・文字(年長)
30	木		中学体育祭	劇団ドレミ座公演 幼稚園教育課程研究協議会
31	金	出欠統計提出	中学体育祭予備日	スマイル主催ハロウィンパーティ

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。

■樹徳コミュニティセンター「み法」



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

- ・10月4日(土) 9:00～15:00
群馬県社会保険労務士桐生支部 無料相談会
代表 杉戸健二さん

※その他の10月、11月の予定は未定です。

11月(正定)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	土	1・2年ベネッセ総合学カテスト 個別入試相談会③	4・5年進研模試②	開園日(預かり保育)
2	日			
3	月	第42回吹奏楽部定期コンサート(パル)	文化の日	
4	火	2年生修学旅行事前指導① 校内安全点検日	5年修学旅行事前指導①	安全点検日 火災対応避難訓練
5	水	授業料納入日 探究・LHR 私学振興全国大会(東京) 日私中高常任理事会/事務局長会議	授業料納入日 中学合唱コンクール マイトリー抛金日 総合学習 医療倫理・医系進学講座	英語・文字(年長)
6	木	合唱コンクール(1年生)	4年合唱コンクール	体育・文字(年中)
7	金	マイトリー基金抛金日 中高協会定例会(共愛)		お誕生日会(10・11・12月生)
8	土	個別入試相談会④ 漢字検定②	土曜補習	開園日(預かり保育)
9	日	英語検定②二次	英検②二次	
10	月	学年主任会⑦ 教科主任会⑦ 制服アフターサービス	中学朝礼/高校LHR 三越アフターサービス	教育実習受け入れ(～21日まで) 保育料納入日 リズム・線遊び(年少)
11	火	朝礼	語学研修ニューージーランド(～17日) 高校朝礼	焼き芋会
12	水	探究・LHR	総合学習	お茶のお稽古⑤ 英語
13	木	期末試験(～18日)	高校期末試験(～18日)	体育・文字(年中)
14	金		LITERAS論理言語力検定	卒園・修了写真撮影 七五三祝い
15	土		第一期入試	開園日(預かり保育)
16	日			
17	月	運営委員会④	中学LHR	リズム・線遊び(年少)
18	火	修学旅行事前指導②	5年生修学旅行事前指導②	ボール投げ教室⑥(年中・年長)
19	水	探究・LHR 3年河合塾全統ブレ共通テスト模試(～22日)	総合学習	英語・文字(年長)
20	木		エアコン清掃(～25日)	体育・文字(年中)
21	金	日本私立小中学校保護者連合会 青少年育成研修会(京都)		
22	土		数検②	開園日(預かり保育)
23	日	勤労感謝の日		
24	月	振替休日		
25	火			線遊び(年少)
26	水	探究・LHR 県高P連指導者研究集会	総合学習	英語・文字(年長)
27	木	2年生修学旅行直前指導③ 平和学習(1年生) 消費者教育(3年生) 3年進学クラス三者面談(～28日)	4年平和学習 5年修学旅行事前指導③ 6年生消費者教育	体育・文字(年中)
28	金	1年生進路ガイダンス 出欠統計提出 2年生修学旅行(～12/1)	5年生修学旅行(～12/1)	
29	土			開園日(預かり保育)
30	日			

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく